

(様式第11号) (第24条関係)

太陽光発電施設設置届出書

2026年6月9日

長野県知事 様

住 所 上田市大手1-11-16  
氏 名 株式会社サンドエナジーうえだ  
代表取締役社長 小相澤 隆幸

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第24条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

太陽光発電施設の設置の場所	長野県上田市吉田485番地	
事業区域の位置及び面積	5,069.6㎡ (別紙、位置図参照)	
太陽光発電施設の合計出力	750.0kW (太陽電池の合計出力910.98kW)	
太陽光 発電事 業の内 内容及 実施予 定期間	発電電力の用途 <input checked="" type="checkbox"/> 売電 <input type="checkbox"/> 自家消費 設備ID ( ) 売電先 脱炭素先行地域における民生部門需要家等	
	設置工事着手予定日	令和8年7月10日
	設置工事完了予定日	令和8年12月末日
	運転開始予定日	令和9年1月1日
	施設撤去予定日	令和34年1月末日
太陽光発電施設の設置に関する計画	別添「太陽光発電施設設置計画書」参照	
太陽光発電施設の構造に関する事項	地上設置型太陽光発電システムの設計ガイドライン等を参照の上、設計会社による構造(強度)計算を行い、架台について風雪に耐えられる強固なものとする。	
景観保全のための措置の検討に関する事項	別紙「景観の保全のための措置の検討状況書」参照	
環境の保全のための措置の検討に関する事項 (※環境配慮区域に太陽光発電施設を設置する場合に限る。)	該当なし	
備考	連絡先 (電話番号) 0268-75-8673 (FAX番号) 0268-75-8675 (電子メールアドレス) <a href="mailto:s.nakahara@suntoenergy.co.jp">s.nakahara@suntoenergy.co.jp</a>	

注1 該当する□内に△印を記入すること。

2 「太陽光発電施設の設置の場所」欄は、届出に係る太陽光発電施設の事業区域が所在する土地の地番全て記載すること。

3 「事業区域の面積」欄には、小数第1位まで記載すること。

4 「太陽光発電施設の合計出力」欄は、小数第1位まで記載すること。

5 「発電出力の用途」欄は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（平成23年法律第108号）第9条第1項の規定による申請手続中の場合は、その旨を記載すること。

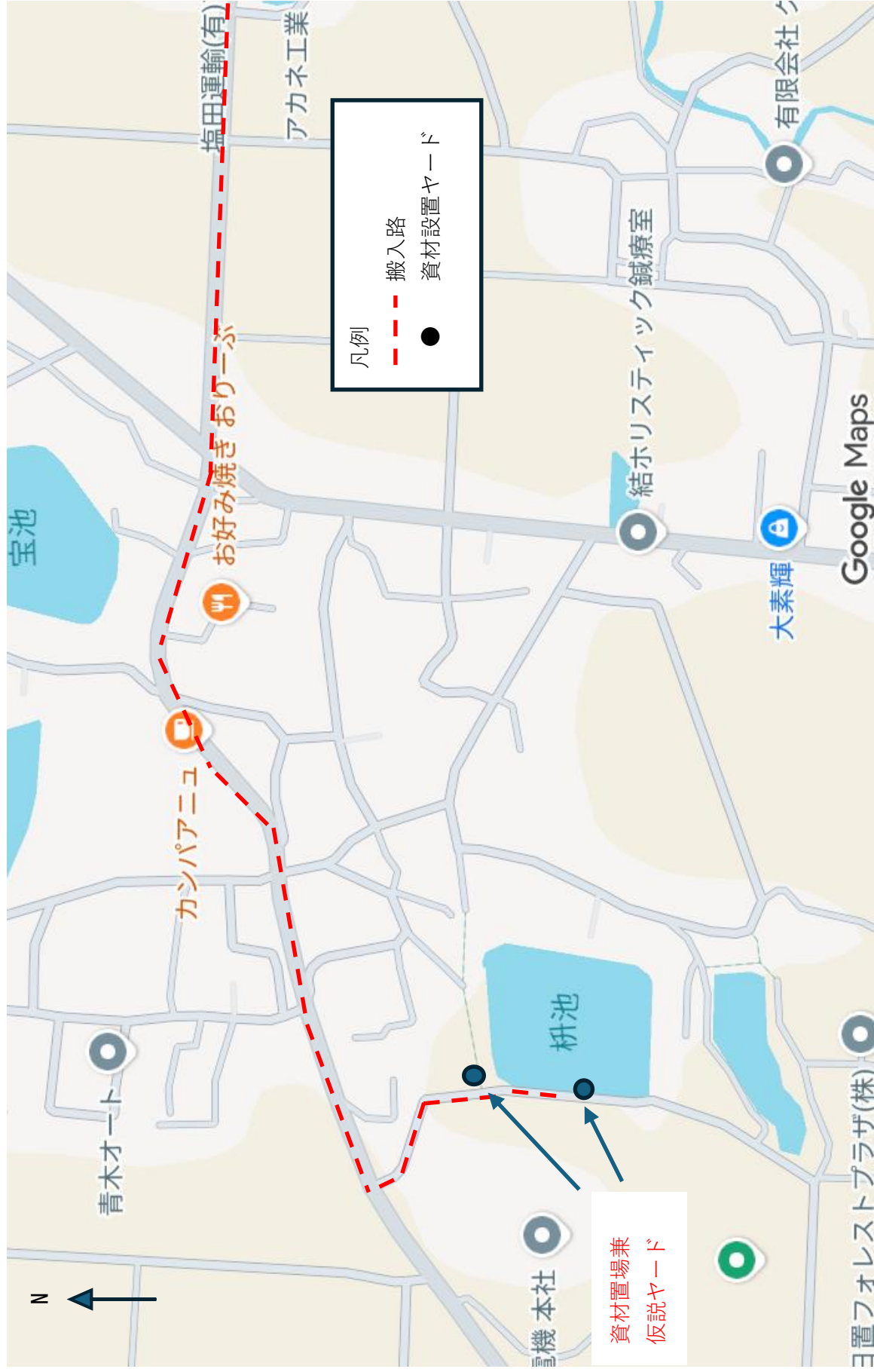
6 「備考」欄は、電話番号、FAX、電子メールアドレス等の連絡先を記載すること。

- (添付書類)
- 1 位置図
  - 2 事業区域図
  - 3 太陽光発電施設の配置図
  - 4 条例第11条の書面
  - 5 その他知事が必要と認める書類





資材等搬入ルート計画図



景観の保全のための措置の検討状況書

項目	検討事項	配慮する内容	
太陽電池 モジュール	<p>(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。</p>	<p>ため池への施工により周辺への影響は特にはないものと思料。</p>	
	<p>(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、完成予想図の作成（シミュレーション）等を実施する。 ※検討で作成した完成予想図は添付すること</p>	<p>ため池への施工にて景観に影響はないと思料。 別紙完成予想図を添付します。</p>	
	配置	<p>(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。</p>	<p>ため池水面への設置にてため池堤体等で十分隔離して設置致します。</p>
		<p>(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。</p>	<p>ため池水面への設置にて該当しないと見料。</p>
	規模	<p>(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。</p>	<p>ため池水面への設置にて視界を遮ることはないと思料。</p>
		<p>(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。</p>	<p>ため池水面に傾斜角8度山型配置のため、垂直投影面積を抑えた設計としています。</p>
	形態・ 意匠	<p>(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。</p>	<p>別紙パネル配置図を添付します。</p>
		<p>(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。</p>	<p>ため池水面に傾斜角8度で、設置します。</p>
		<p>(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。</p>	<p>ため池水面への東西山型設置にて裏面が見えにくい。</p>

項目		検討事項	配慮する内容
太陽電池 モジュール	材料・ 色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。	パネルは低反射のものを採用します。
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。	黒のパネルを採用します。
	フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。 (2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。	低反射の素材を使用します。 景観に配慮した色を用います。
附帯施設・ 附属施設		(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。	既存のフェンスを活用。
		(2) 電柱電線類については、極端に増加させないように、低減に努める。	引込柱を3本建柱予定。
		(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。	景観を損なうものは採用しません。
敷地の緑化		(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。	植栽計画はありません。
		(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。	上記と同様。
その他		(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。	パネル反射シミュレーションを実施。 ※別紙を添付します。
		(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。	年3回の架台点検を実施。
		(3) 事業区域場所の景観行政団体の定める景観育成基準への適合を確認する。	上田市都市建設部都市計画課に確認。

上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。

## 桝池 完成予想図②

桝池水上太陽光発電所 竣工イメージ図

工事前（画像は南部堤体補強工事前）



竣工後（画像は南部堤体補強工事前）



# 柵池 完成予想図①

柵池水上太陽光発電所 竣工イメージ図

工事前（画像は南部堤体補強工事前）

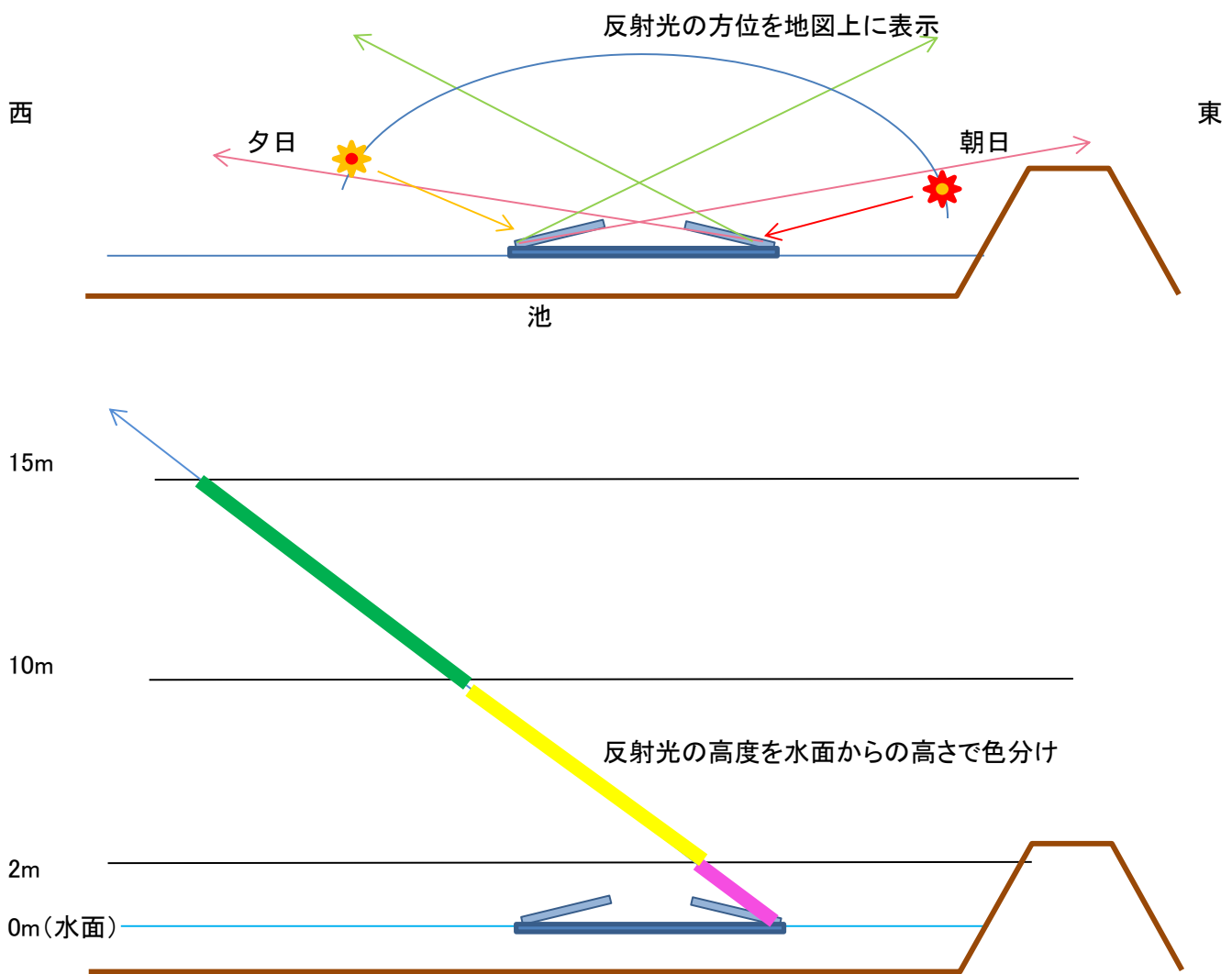
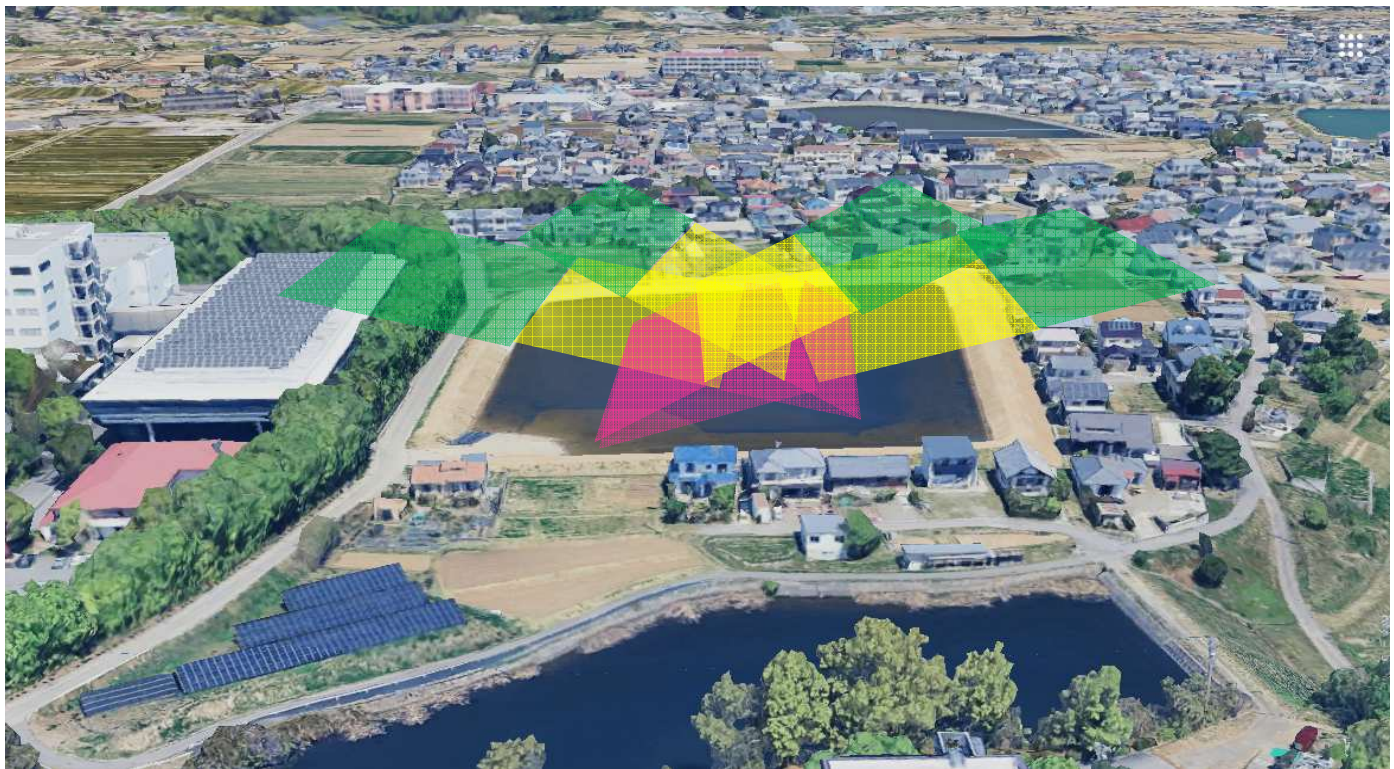


竣工後（画像は南部堤体補強工事前）



# パネル反射シミュレーション概要

## パネル反射光線軌跡イメージ



柵池の場合、日没前は西側の日置工場の樹木等により、直射は無く、反射の影響は低いと思われる。

柵池 パネル反射シミュレーション

0-2m 2-10m 11-15m

1月

パネル方位東 傾斜 8度

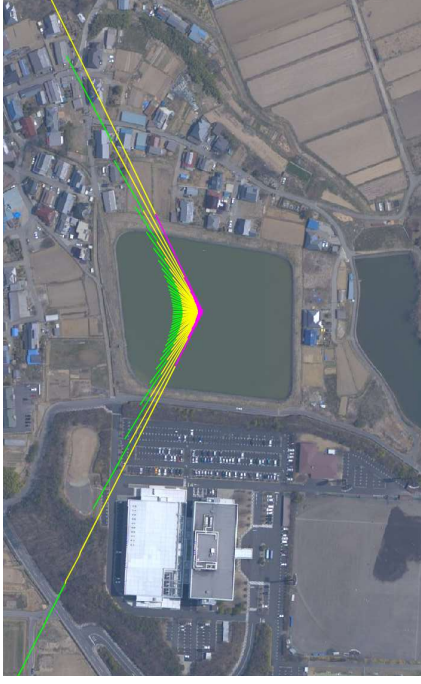


パネル方位西

傾斜 8度

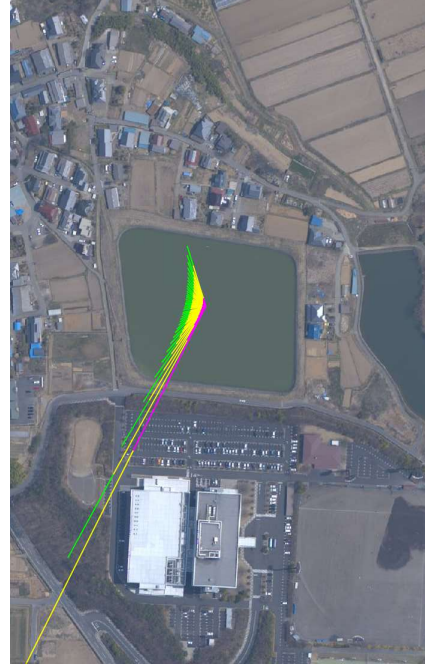


水面



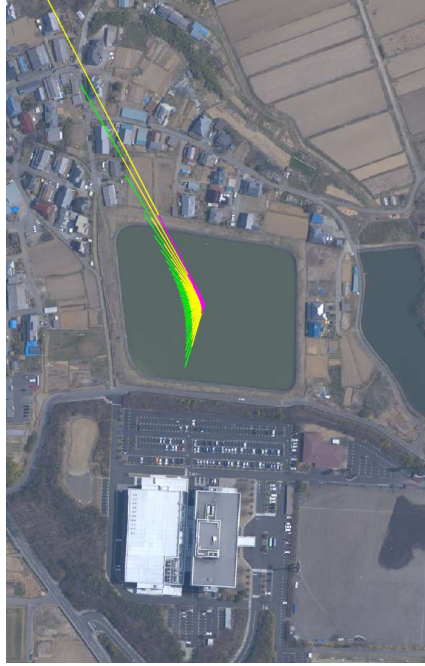
2月

パネル方位東 傾斜 8度



パネル方位西

傾斜 8度



水面



柵池 パネル反射シミュレーション

0-2m 2-10m 11-15m

3月 パネル方位東 傾斜 8度



パネル方位西

傾斜 8度



水面



4月 パネル方位東 傾斜 8度

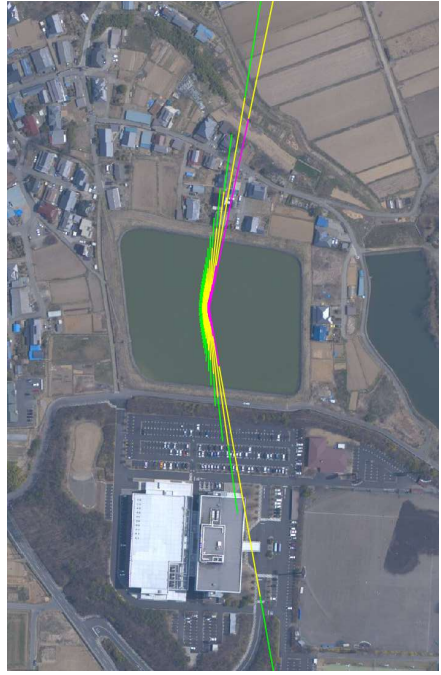


パネル方位西

傾斜 8度



水面



柵池 パネル反射シミュレーション

0-2m 2-10m 11-15m

5月

パネル方位東

傾斜 8度

水面



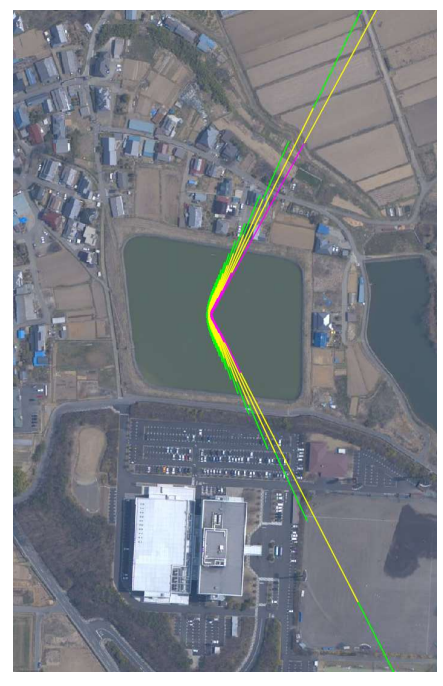
6月

パネル方位東

傾斜 8度

傾斜 8度

水面



柵池 パネル反射シミュレーション

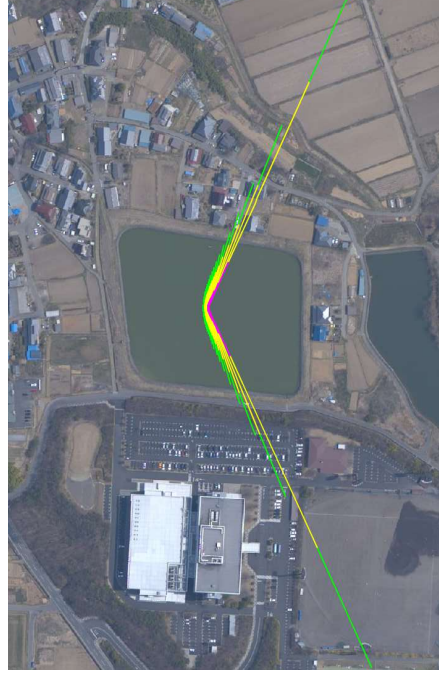
0-2m 2-10m 11-15m

7月

パネル方位東

傾斜 8度

水面



8月

パネル方位東

傾斜 8度

水面



柵池 パネル反射シミュレーション

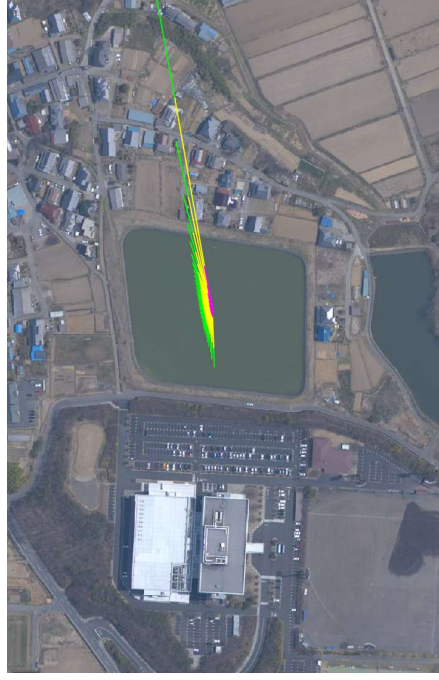
0-2m 2-10m 11-15m

9月

パネル方位東

傾斜 8度

水面



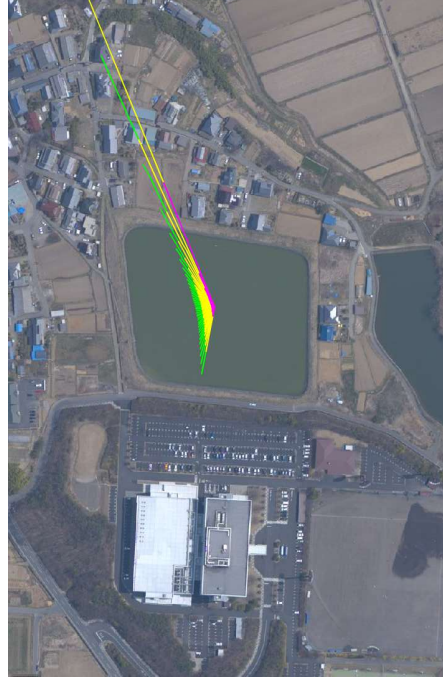
10月

パネル方位東

傾斜 8度

傾斜 8度

水面



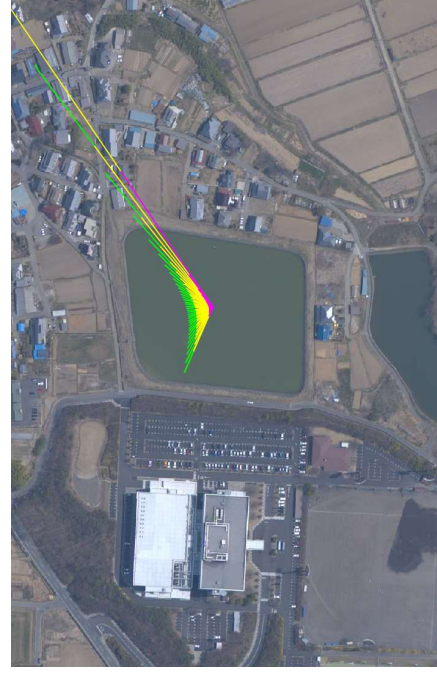
柵池 パネル反射シミュレーション

0-2m 2-10m 11-15m

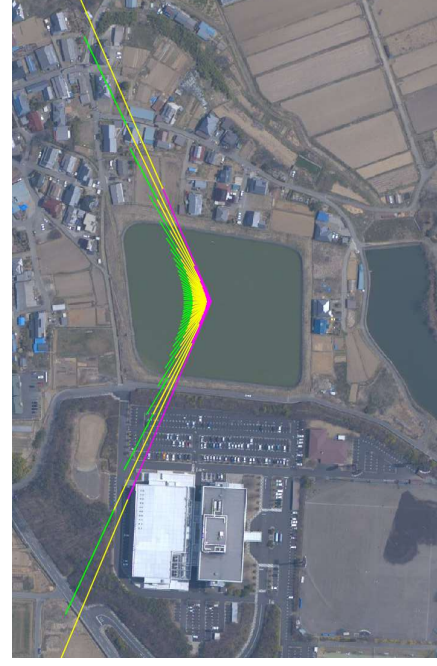
11月 パネル方位東 傾斜 8度



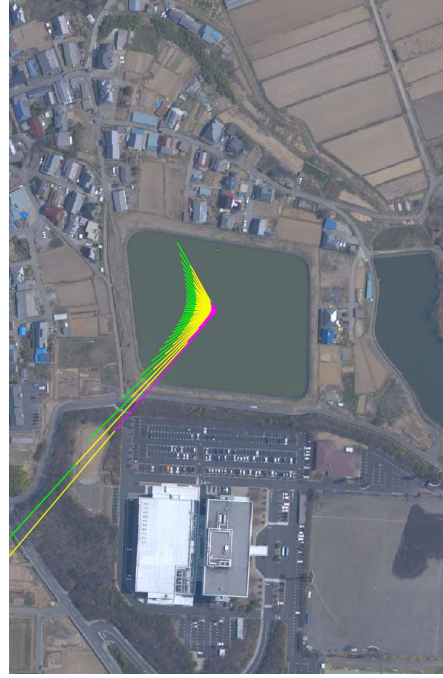
パネル方位西 傾斜 8度



水面



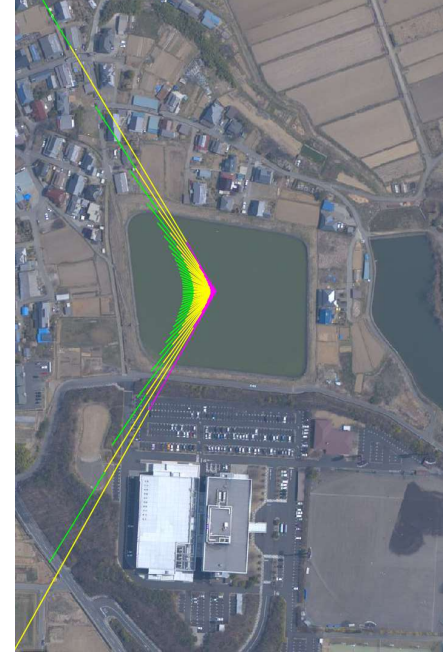
12月 パネル方位東 傾斜 8度



パネル方位西 傾斜 8度



水面



(参考様式) (第 19 条関係)

## 維持管理計画

作成日 2026年6月9日

太陽光発電施設の設置場所	長野県上田市吉田485番地	
事業者名(法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名)	上田市大手1-11-16 株式会社サントエナジーうえだ 代表取締役社長 小相澤 隆幸	
保守点検責任者	氏名及び住所	大阪市城東区成育1丁目16-16 株式会社環境資源開発コンサルタント 金城 義栄
	電話番号	06-6967-9282
合計出力	750.0kW (太陽電池の合計出力910.98kW)	
維持管理の内容	別紙のとおり	
施設撤去予定日(事業終了予定日)	令和34年1月末日	
損害保険の加入状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (保険内容 自然災害 電氣的・機械的事故の対応)	
太陽光発電施設を撤去する際の対応	指定廃棄業者に依頼し、適法に処理する。 FIT法の廃棄費用積み立て制度に倣い独自で積み立てを行う	
維持管理計画及び状況の公表方法	事務所にて保管し、開示請求があった際に開示する。	

※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。

<太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容>

ため池水面設置のため、土砂災害等の心配はない。

また、ため池の提体への影響がないように、アンカー設置場所を設計する。

その他、強風による飛散対策として部材の劣化状況を保守点検項目に従い巡視する。

<土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容>

ため池水面設置のため、土砂災害等による損害、周辺地域への環境の保全に支障を来す恐れはないが、ため池の提体が崩壊することにより、発電所施設が周辺環境に影響を及ぼした場合は迅速に状況を把握し、関係機関へ連絡を行うとともに、速やかに撤去等実施し、二次災害が起きないように対策を講じる。

<別紙>

太陽光を電気に変換する施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日	
太陽電池アレイ	■	太陽電池モジュール	表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。	目視	年3回		
			端子箱に破損、変形がないか				年3回
			フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がない。				年3回
	■	コネクタ	破損、変形がなく確実に結合されている。		年3回		
	■	ケーブル	配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損がない。		年3回		
			配線に過剰な張力、余分な緩みがない。		年3回		
	■	電線管	破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定されている。		年3回		
	■	接地線	接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続されている。		年3回		
			接続部に緩み、破損がない。		年3回		
	■	架台	基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が進行していない。		年3回		
			架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損がない。		年3回		
			積雪による沈降、不等沈降、地際腐食などの影響がない。		年3回		
			ボルト、ナットの緩みがない。		年3回		
			固定強度に不足の懸念がない。		年3回		
	接続箱	■	本体		著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。	年3回	
固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。				年3回			
雨水、じんあい等の侵入がない。				年3回			
■	配線	配線に著しい汚損、破損、きず、さびがなく正しく固定されている。	年3回				
漏電遮断	■	本体	著しい汚れ、さび、腐食、破損、変形などが無い。	年3回			
	■	配線	配線に著しいきず、破損がない。	年3回			
パワーコンディ	■	本体	著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損、変形がない。	年3回			
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。	年3回			

			コーキングなどの防水処理に異常がなく雨水などの侵入がない。		年3回	
			運転時の異常な音、振動、臭い、加熱がない		年3回	
	■	配線	配線に著しい汚れ、破損、汚れ、さび、腐食、破損などが無い。		年3回	

### 附帯施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
法面・擁壁	□	切土法面	小段の沈下がない。	目視	年 ○ 回	
			排水溝の損傷がない。			
			目地にずれがない。			
			開口量の大きな亀裂が発生していない。			
			吹付工法等の剥離がない。			
			法枠工法等の破断がない。			
			はらみ出しの発生がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			崩落がない。			
	上部斜面からの土砂流出がない。					
	□	盛土法面	小段の沈下がない。			
			段差が発生していない。			
			排水溝の損傷がない。			
			法尻の崩落がない。			
			オーバーフローによる洗掘がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
		湧水箇所の軟弱化がない。				
		擁壁	亀裂、割れが生じていない。			
座屈、段差、傾斜がない。						
つなぎ目にずれがない。						
排水設備	□	排水溝、枡	水路に落下物等のつまり、堆積がない。			
			亀裂、ずれがない。			
			破損がない。			
			排水設備外への漏水がない。			
調整池	□	提体	上下流の法面に崩れ、亀裂、損傷、陥没、漏水がない。			

			堤頂に亀裂、沈下、損傷、陥没、漏水がない。		
			草木の繁茂がない。		
	<input type="checkbox"/>	基礎	堤体の基礎に漏水、地山のはらみ出し、沈下、崩壊がない。		
	<input type="checkbox"/>	余水吐き	導流水路に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		
			越流部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		
			放流水路に亀裂、損傷、劣化及び継ぎ目の開きがない。		
	<input type="checkbox"/>	放流施設	規定の放流先以外への漏水、土砂の流出がない。		
			呑口部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		
			吐き口に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		
			油等の浮遊がない。		
	<input type="checkbox"/>	貯留部	法面に崩れ、亀裂、破損、湧水がない。		
			天端に損傷、沈下、陥没、損傷がない。		
			貯留部低地に著しい土砂の堆積がない。		
			油等の浮遊がない。		
			下流河川（周辺）に洗掘、崩壊がない。		
防護柵、塀	<input checked="" type="checkbox"/>	フェンス（防護柵）	著しいさび、きず、破損、傾斜がない。	年3回	
	<input checked="" type="checkbox"/>	標識（事業計画、注意喚起）	視認性を損なう汚れ、文字の色落ち、擦れ、破損がない。	年3回	
	<input checked="" type="checkbox"/>	入口扉	開閉に異常がなく施錠に問題がない。	年3回	
進入路・管理道	<input type="checkbox"/>	通路等	周辺からの土砂の流入、堆積がない。		
			事業地周辺への土砂の流出がない。		
			雨水等による洗掘がない。		
			草木の繁茂がない。		
設置地盤	<input type="checkbox"/>	舗装あり地盤	亀裂、剥離がない。		
			段差、傾斜がない。		
			空洞の発生（土砂の流出）がない。		
			隆起の発生がない。		
設置地盤	<input type="checkbox"/>	舗装なし地盤	周辺からの土砂の流入、堆積がない。		
			事業地周辺への土砂の流出がない。		
			雨水等による洗掘がない。		
			草木の繁茂がない。		

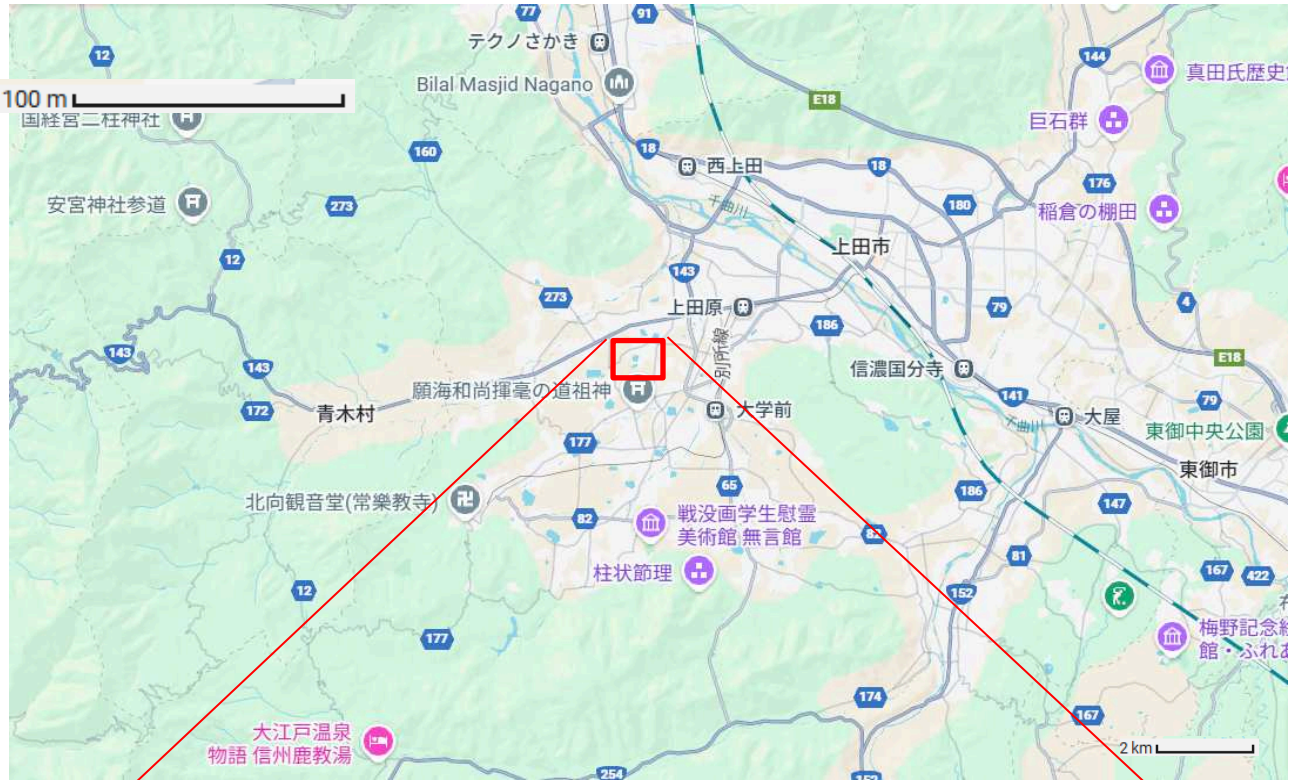
※施設の規模や立地、設備に応じた内容の点検項目を適宜追加・修正してください。

# 位置図・事業区域図

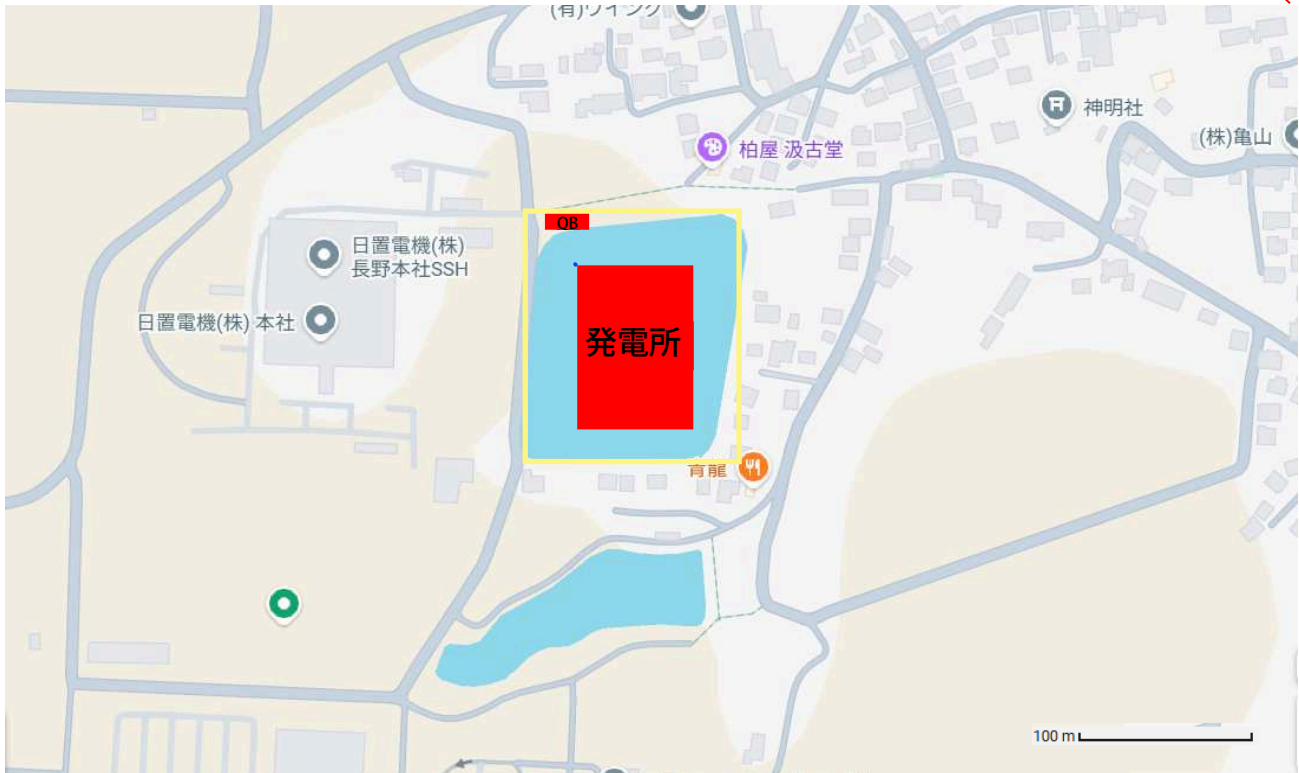
柵池

長野県上田市吉田 485番地

## 位置図



## 事業区域図



## 桝池 事業区域図

桝池水上太陽光発電所 竣工イメージ図

工事前（画像は南部堤体補強工事前）



竣工後（画像は南部堤体補強工事前）

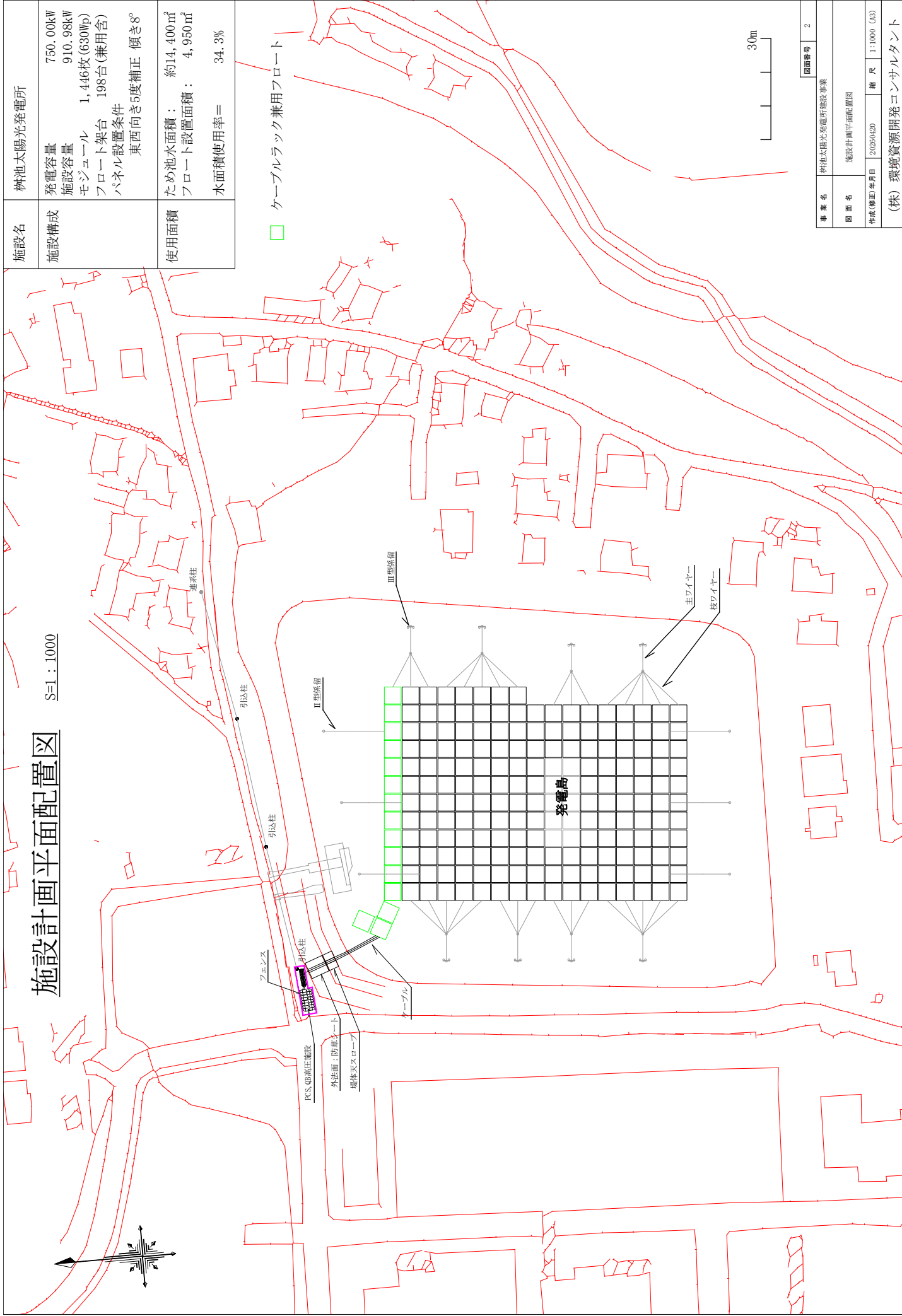


# 施設計画平面配置図

S=1:1000

施設名	柘池太陽光発電所
施設構成	発電容量 750.00kW 施設容量 910.98kW モジュール 1,446枚(630Wp) フロート架台 198台(兼用含) パネル設置条件 東西向き5度補正 傾き8°
使用面積	ため池水面積： 約14,400㎡ フロート設置面積： 4,950㎡ 水面積使用率= 34.3%

□ ケーブルラック兼用フロート



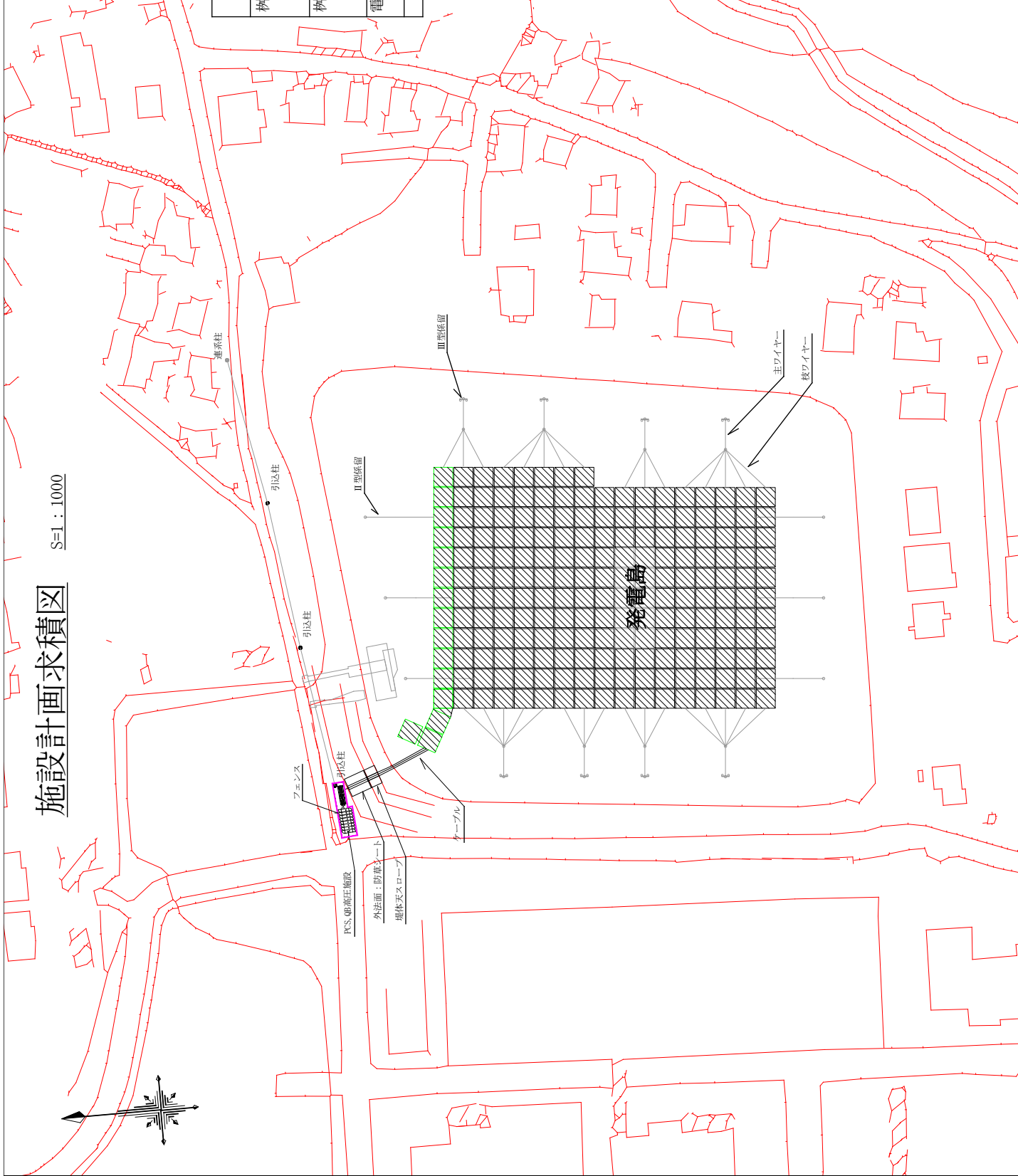
事業名	柘池太陽光発電所建設事業	図面番号	2
図面名	施設計画平面配置図	縮尺	1:1000 (A3)
作成(修正)年月日	2025/02/20	(株) 環境資源開発コンサルティング	

# 施設計画求積図

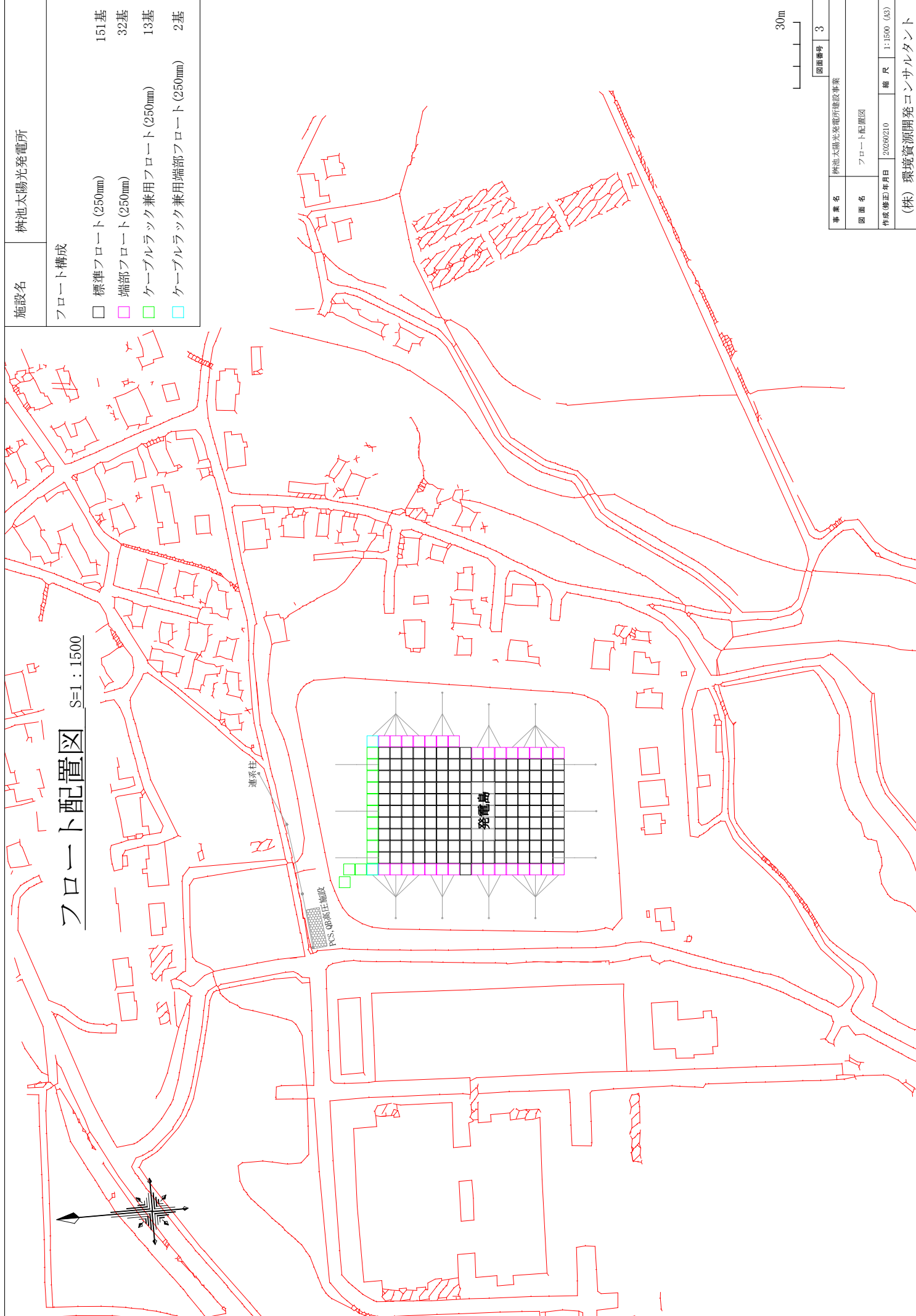
S=1:1000

施設名	梶池太陽光発電所
施設構成	発電容量 750.00kW 施設容量 910.98kW モジュール 1,446枚(630Wp) フロート架台 198台(兼用含) パネル設置条件 東西向き5度補正 傾き8°

使用範囲 (本物件範囲)	
施設内容	面積㎡
発電フロート	4,950.0
係留施設	9.9
送電ケーブル	14.2
送電ケーブル	9.4
スロープ	11.6
防草シート	23.6
電気設備敷地	50.6
引込柱	0.3
合計面積	5,069.6



事業名	梶池太陽光発電所建設事業	図面番号	2
図面名	施設計画平面配置図	作成(修正)年月日	2025/04/20
縮尺	1:1000 (A3)	ページ	1 / 1
(株) 環境資源開発コンサルティング			



フローシート配置図 S=1:1500

施設名 榊池太陽光発電所

フローシート構成

- 標準フローシート (250mm) 151基
- 端部フローシート (250mm) 32基
- ケーブルラック兼用フローシート (250mm) 13基
- ケーブルラック兼用端部フローシート (250mm) 2基

30m

事業名	榊池太陽光発電所建設事業		
図面番号	3		
図面名	フローシート配置図		
作成(修正)年月日	2020/02/10	縮尺	1:1500 (A3)
(株) 環境資源開発コンサルタンツ			

現況写真 ① (撮影:2026年6月8日)



現況写真 ② (撮影:2026年6月8日)



現況写真 ③ (撮影:2026年6月8日)



(参考様式) (第11条・第13条関係)

### 事業基本計画説明状況書

2026年6月9日作成

事業者の住所・氏名 (法人にあって、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)	長野県上田市大手1-11-16 株式会社サントエナジーうえだ 代表取締役社長 小相澤 隆幸	
事業太陽光発電施設の設置の場所	長野県上田市吉田485番地 (設備ID )	
説明会開催についての周知の方法とその範囲	対象は水利組合である吉田区と吉田自治会、事業区域境界線より概ね300m区域にお住いの住民 ・吉田自治会の住民に回覧で周知 ・事業区域境界線より概ね300m区域の案内を個別にポスティングし周知	
説明会の概要	日時	2026年5月9日(土) 9:30~11:00
	場所	吉田会館： 上田市吉田257-3
	参加者数	26人
	説明を行った者の氏名(法人にあっては、氏名及び役職名)	上田市環境政策課 [REDACTED] 株式会社サントエナジーうえだ [REDACTED] 株式会社環境資源開発コンサルタント 代表取締役 金城義栄

注1 説明会を2回以上開催した場合は、説明会ごとに作成すること。

(添付資料) 1 説明会で配布した説明資料

2 説明会で説明した内容、参加者の要望及び意見並びにそれらへの回答等について具体的に記載した議事録

(参考様式) (第11条・第13条関係)

### 事業基本計画説明状況書

2026年6月9日作成

事業者の住所・氏名 (法人にあって、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)	長野県上田市大手1-11-16 株式会社サントエナジーうえだ 代表取締役社長 小相澤 隆幸	
事業太陽光発電施設の設置の場所	長野県上田市吉田485番地 (設備ID )	
説明会開催についての周知の方法とその範囲	対象は水利組合である吉田区と吉田自治会、事業区域境界線より概ね300m区域にお住いの住民 ・吉田自治会の住民に回覧で周知 ・事業区域境界線より概ね300m区域の案内を個別にポスティングし周知	
説明会の概要	日時	2026年5月9日(土) 13:30~15:00
	場所	吉田会館： 上田市吉田257-3
	参加者数	16人
	説明を行った者の氏名(法人にあっては、氏名及び役職名)	上田市環境政策課 [REDACTED] 株式会社サントエナジーうえだ [REDACTED] 株式会社環境資源開発コンサルタント 代表取締役 金城義栄

注1 説明会を2回以上開催した場合は、説明会ごとに作成すること。

(添付資料) 1 説明会で配布した説明資料

2 説明会で説明した内容、参加者の要望及び意見並びにそれらへの回答等について具体的に記載した議事録

# 杣池水上太陽光発電所 事業基本計画説明会

令和8年5月9日  
株式会社サントエナジーうえだ



- 
- 1 はじめに
  - 2 杣池水上発電所の事業概要
  - 3 事業の影響と予防措置
  - 4 工事スケジュール



出典： <https://ercon.co.jp/category/jisseki/page/2/>

# 1. はじめに

～なぜ、この事業を始めるのか～

## 国の目標

- ・ 日本政府は**2050年カーボンニュートラル**の実現を目指しています

## 上田市の目標

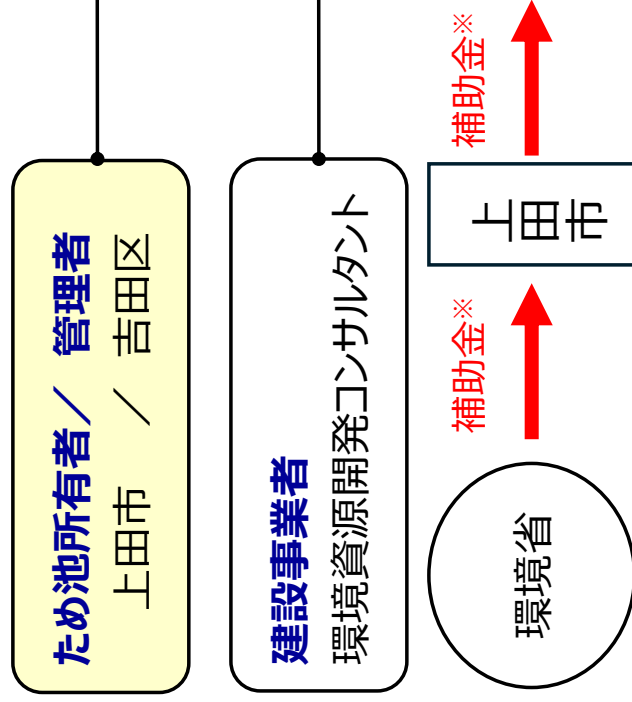
- ・ **2050年カーボンニュートラル**（脱炭素社会）の実現を目指しています
- ・ 脱炭素社会の実現に向けた重点プロジェクトとして、太陽光発電設備の導入を推進しています

## 本事業の位置づけ

- ・ 上田市がカーボンニュートラルに係る先進的な取組を環境省に提案  
→ 「**脱炭素先行地域**」に選定（令和5年11月）
- ・ 取組の1つとして、桧池水上発電による再生可能エネルギーの地産地消  
→ **地域経済循環と脱炭素社会の実現**を目指す取組

## 2 柵池水上発電所の事業概要

### <事業スキーム図>



### 発電事業者



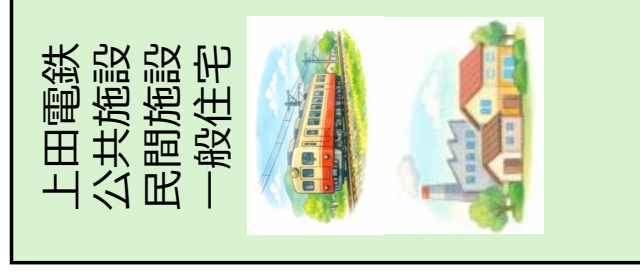
### 小売事業者



↑  
再生電力  
(環境価値)

↕  
小売契約

### 需要家 (例)



※ 上田市が環境省から認定された「脱炭素先行地域地域」の事業計画に基づいた事業に交付される

## 2 柘池水上発電所の事業概要



### ① 再エネ発電事業計画の概要

- **事業者**：株式会社サントエナジーうえだ  
代表取締役社長 小相澤 隆幸（上田市副市長）  
本社住所 上田市大手1-1-16  
0268-71-6428（上田市 環境政策課）
- **電源種**：太陽光発電
- **設置形態**：ため池の水面に浮かべたフロート架台に太陽光パネル設置
- **連系出力**：750kW
- **実施場所**：長野県上田市吉田485番
- **工事期間**：準備期間：令和8年5月30日～6月10日  
本工事：令和8年7月10日～12月23日（予定）
- **災害時の活用可能性**：特にありません



## 2 柘池水上発電所の事業概要



### ② 関係者情報（事業者）

◆ 代表者：(株)サントエナジ-うえだ 代表取締役社長 小相澤 隆幸  
(上田市副市長)

◆ 出資者：上田市…………… 50.3%

上田交通株式会社…………… 12.6%

みやまパワーHD株式会社…………… 12.6%

有限会社和晃…………… 6.3%

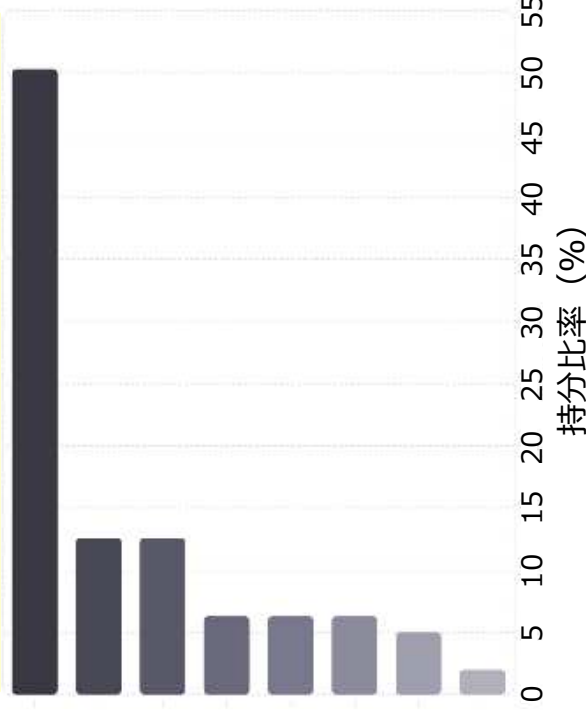
株式会社TicketQR…………… 6.3%

上田商工会議所…………… 6.3%

特定非営利活動法人 上田市民エネルギー…………… 5.0%

上田信用金庫…………… 2.0%

上田市が筆頭株主（50.3%）であり、  
地域に根差した出資構成です。



### ③ 関係者情報（保守点検者）

◆ 保守点検者（予定）：株式会社環境資源開発コンサルタント

## 2 榊池水上発電所の事業概要



### ④ 榊池フローソーラーの発電予測

- ◆ パネル容量：910.98 kW
- ◆ PCS容量：750 kW



年間発電量(予測) **1,283,794 [kWh]**  
年間CO<sub>2</sub>削減量※1 **528 [t-CO<sub>2</sub>]**

※1 中部電力ミライズ (2024年度 基礎排出係数0.000411 [t-CO<sub>2</sub>])

**約350世帯分※2の年間電気使用量に相当**

※2 環境省 (令和5年度 家庭部門のCO<sub>2</sub>排出実態統計調査) を参照し算出

### ⑤ 土地権限の取得状況

- ◆ 所有者及び管理者へご説明、ご相談済み  
所有者：上田市  
管理者：吉田区様

## 2 柵池水上発電所の事業概要



### ⑥ 関係法令の遵守状況

ア. 「再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法」(経済産業省：平成二十三年法律第百八号)  
再生可能発電事業の実施のために必要な認定申請要件許認可

同法に基づくFIT・FIP制度を活用しないため、該当しません

イ. 「再生可能エネルギー発電事業に係る関係法令手続状況報告書」(電力広域的運営推進機関)  
同書に記載の法令に基づく許認可・届出等

すべて確認済み (該当する法令については以下のとおり)

- ・ 景観法に基づく届出
- ・ 農地法に基づく農地転用許可の届出
- ・ 文化財保護法に基づく埋蔵文化財包蔵地土木工事等の届出

ウ. 長野県条例「長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例」(令和5年10月16日条例第24号)

- ◆ 事業基本計画：4月23日 提出済
- ◆ 説明会：5月9日
- ◆ 意見書回答：6月9日 (予定)
- ◆ 届出書：7月9日

### 3 事業の影響と予防措置

#### ① 安全面への影響及び予防措置について

(ア) 斜面への設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当しません</li> </ul>
(イ) 盛り土・切土	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山林の盛り土・切土はありません</li> <li>・ 桝池の北西側に高圧変電設備を設置します また、北部に電柱3本を設置する予定です ※1</li> </ul>
(ウ) 地盤強度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 池底へのアンカー設置は、引抜強度を計測し打設します</li> </ul>
(エ) 排水対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当しません</li> </ul>
(オ) 法面保護 斜面崩落防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当しません</li> </ul>
(カ) 設備設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フロート架台は金属棒で連結し、スクリューアンカーを池底の遮水層に打ち込み、ステンレスワイヤーにて係留します</li> </ul>
(キ) 防災施設の先行設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当しません</li> </ul>
(ク) 施工後の管理の 継続性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水質検査 (2回/年)</li> <li>・ フロート架台の検査 (3回/年)</li> <li>・ 潜水土によるアンカー検査 (1回/年)</li> <li>・ パネル、電気系統の検査 (3回/年)</li> </ul>
(ケ) 事業終了後の措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 25年間の事業終了時、発電事業者が全ての施設を撤去し、原状回復します</li> </ul>



※1 電柱2本と引込柱1本の合計3本。

### 3 事業の影響と予防措置



#### ② 自然環境・生活環境面の影響及び予防措置としての説明項目

##### 騒音・振動

- ・ 工事車両は最徐行にて走行します
- ・ 地上設置の高圧変電設備およびパワーコンディショナーからファンの運転音（約60db※1）が発生しますが、住宅地から離れた位置に設置し、配慮いたします

※1 人の話し声、テレビの音と同レベル



##### 反射光

- ・ 反射を抑える特殊なパネルを採用します
- ・ シミュレーションの結果、周辺の建物に反射光の影響が増すことはありません

##### 水の汚れ・濁り

- ・ フロート架台の占有率は、水面面積の35%以下に抑えます
- ・ 年2回の水質検査※2を実施します
  - ※2 過去の施工事例において、水質が悪化し、利水に影響を及ぼした事例はありませんでした



##### 雑草の繁茂

- ・ 地上施設（高圧変電設備・パワーコンディショナー）周辺の草刈りを適宜実施します。

### 3 事業の影響と予防措置



#### 【参考】

パネルの反射光（一般的なフロートソーラー）

水面の直接反射に比べ太陽光パネルの反射の方が小さい ⇒ **水面の反射光 > 太陽光パネルの反射光**



### 3 事業の影響と予防措置

#### ③ 自然環境・生活環境面の影響及び予防措置としての説明項目

##### 本施設には該当しない項目

- ・ 風車の影による日照障害
- ・ 温泉への影響（地熱発電）
- ・ 蒸気の噴出（バイオマス発電）
- ・ 流量等への影響（水力発電）
- ・ 燃料保管・搬入等に伴う生活環境への影響（バイオマス発電）

### 3 事業の影響と予防措置

#### ④ 再エネ発電事業に伴い生じ得る廃棄物等の撤去等に関する影響及び予防措置に関する説明

##### ■ 太陽光パネルについて

- ・ パネルメーカー： チント・ソーラー・ジャパン（2025年製）
- ・ 含有物質情報（鉛・カドミウム・ヒ素・セレン）：0.1wt%以下（検出不能）

##### ■ 設備の廃棄について

- ・ 廃棄費用総額：930万円（概算）
  - ※ 太陽光発電の廃棄等費用積立制度（経済産業省資源エネルギー庁）に準拠（パネル1kWあたり約1万円）  
積立を行う場合は設備、3.1万円/月

##### ■ 設置及び解体工事に伴って発生する産業廃棄物の種類

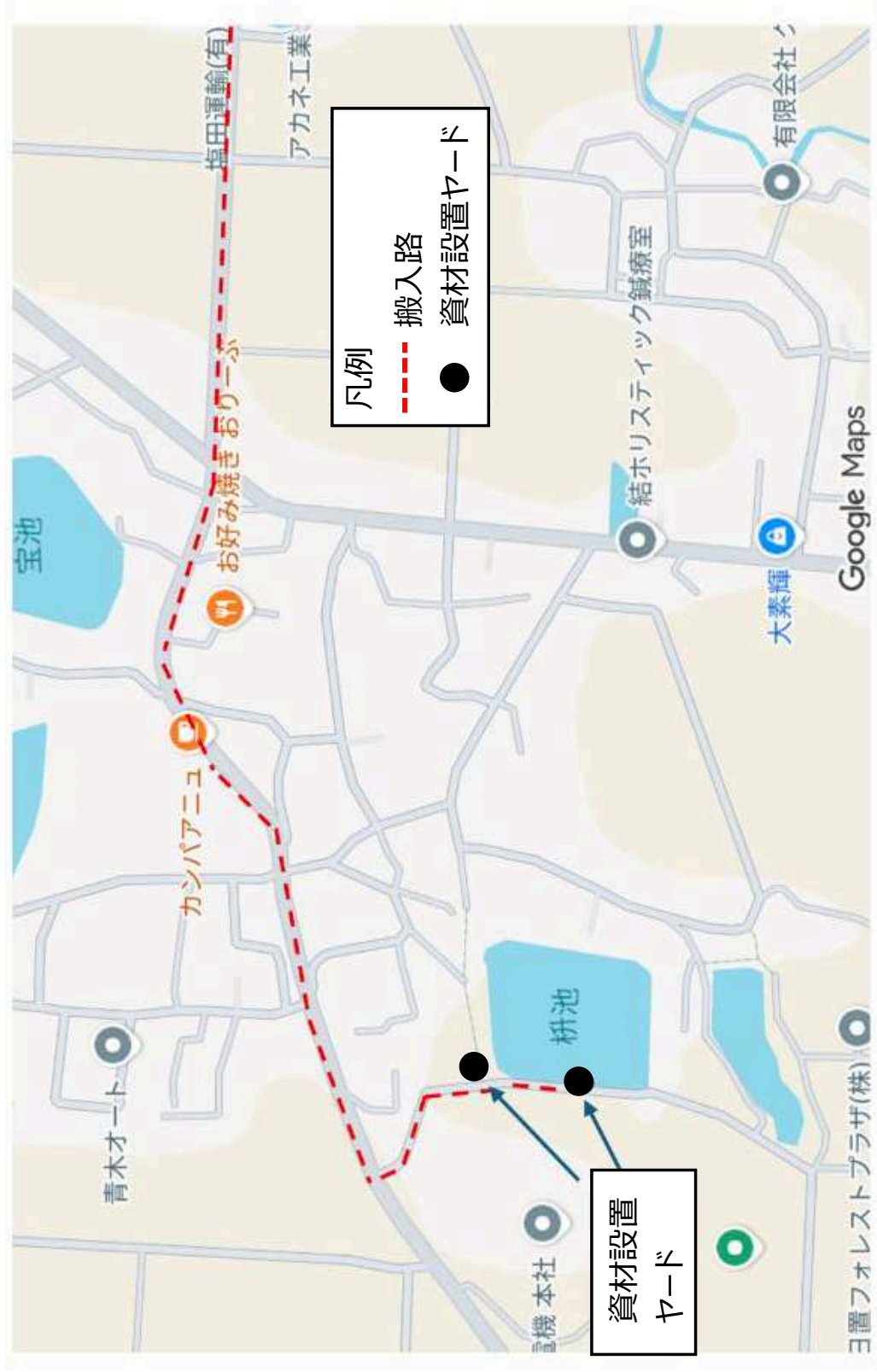
- ・ コンクリート 約10m<sup>3</sup>（高圧受電設備の基礎部分）
- ・ 他、残土等は発生しません

### 3 事業の影響と予防措置

#### ④ 再エネ発電事業に伴い生じ得る廃棄物等の撤去等に関する影響及び予防措置に関する説明

- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の関係法令への遵守体制
  - ・ 産業廃棄物管理票（マニフエスト）を交付し、関係法令を遵守します
- 土地開発に係る許認可等に基づき、発電事業終了後の土地の原状回復義務
  - ・ 土地開発にかかわる許認可要件等はありません
  - ・ 発電事業終了後、フロート架台・パネル・地上施設はすべて撤去し、現状に回復します

# 資材等搬入ルート計画







## メモ欄


地球のために

次の世代のために

わたしたちのために

**いつまでも暮らしやすい  
脱炭素先行地域を**

つくっていきましょう

## お問い合わせ先

本事業や説明会に係るご質問・ご意見がある場合

### 株式会社サントエナジーうえだ

TEL | 0268-75-8673  
0268-75-8675 (FAX兼用)

MAIL | [info@suntoenergy.co.jp](mailto:info@suntoenergy.co.jp)

脱炭素先行地域・事業全般に関すること

### 上田市役所 環境政策課

TEL | 0268-71-6428

MAIL | [kankyo@city.ueda.nagano.jp](mailto:kankyo@city.ueda.nagano.jp)

# 上田市における 地球温暖化対策について

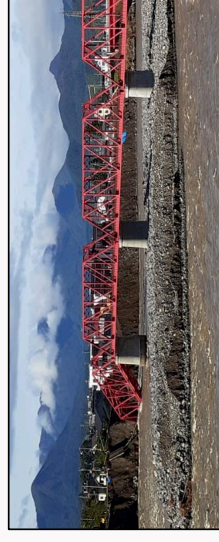
上田市環境政策課

## 地方公共団体が地球温暖化対策に取り組む意義

上田市（地方公共団体）が温暖化対策を実行しないと・・・

- ・ **気候災害等によって地域に甚大な被害が発生**

- ➡住民の安全・安心な生活が脅かされる
- ➡熱中症リスクの増大、医療費負担増



リンゴの高温障害

- ・ **温暖化の進行によって地域のレジャー産業や農作物に影響**

- ➡地域の産業構造や稼ぐぐ力に影響が及ぶ

- ・ **莫大なエネルギー代金が域外へ流出**

- ➡2020年は約50億円がエネルギー代金として域外に流出したと推定

地方公共団体は、**住民福祉の増進を図る**ことが基本

温暖化対策（ゼロカーボンシティの実現に向けた取組）は、上田市が抱えている課題や近い将来に直面する課題へ対応し、将来にわたって豊かで健康的な暮らしができる**持続可能な社会の形成のための「手段」**

## 地球温暖化対策に関連する上田市の動向

**2021年 2月：「上田市気候非常事態宣言～光・緑・人の力で目指す2050ゼロカーボンシテイうえだ～」を表明**

**2021年 3月：上田市地球温暖化対策地域推進計画を策定**

**2023年 3月：第二次上田市環境基本計画（中間見直し版）の策定  
上田市地球温暖化対策地域推進計画の改定**

**2023年 11月：環境省「脱炭素先行地域」に選定**

**2024年 3月：第5次上田市役所地球温暖化対策防止実行計画  
（エコオフィスうえだ）を策定**

# 上田市気候非常事態宣言 ～光・緑・人の力で目指す 2050ゼロカーボンシティうえだ～

## ～背景～

昨今の気候危機ともいえる気候変動により発生した災害等を目の当たりにし、この**危機感を市民の皆さんと共有し、喫緊の課題であることを認識**するとともに、その**原因と対策を、共に考える**必要がある。

## ～目的～

気候変動対策が必要であるとの理解を促進し、対策を共に推進することで、**気候変動の影響を最小限に留め、SDGsが目指す持続可能な社会の実現と脱炭素社会の実現**を目指す。

## ～宣言内容～

- 1 **地域特性を活かした再生可能エネルギーの利活用**を積極的に推進します。
- 2 ライフスタイルの見直しなど、徹底した**省エネルギー対策**を推進します。
- 3 公共交通の利用促進や電動車の普及促進など、**交通の低炭素化**を推進します。
- 4 REDUCE・REUSE・RECYCLEの3Rを徹底し、**循環型社会の形成**に向けた取組を推進します。
- 5 気候変動による**自然災害等へ対応するための適応策**を推進します。

## 上田市気候非常事態宣言

～光・緑・人の力で目指す 2050ゼロカーボンシティうえだ～

近世、中野各条で巨額の投資や大削、本根は手づかしの異常気象が頻発して日か、私たちの暮らしに生命を脅かしています。

令和元年東日本台風では、記録的な大雨によって、本市においても河川の氾濫による浸水や地盤沈下、土砂崩れなど甚大な被害が発生しました。

地球温暖化は、勢力の強い台風や豪雨、異常熱の酷暑を引き起こすなど、もはや気候変動の現実として、気候危機の状況に立ちまわっています。

地球温暖化をはじめとする気候変動の影響を最小限に留め、SDGsが目指す持続可能な社会を実現するためにも、本市の強みである全国有数の日照時間や別所本郷の力、高原や里山の豊かな自然の力を活かして、一人ひとりが気候変動対策に主体的に関与する必要があります。

このため、本市は、気候変動に対する危機感を共有し、市民の皆さんと共に、二酸化炭素排出削減目標ゼロ（ゼロカーボンシティ）の実現を目指します。

- 1 地域特性を活かした再生可能エネルギーの利活用を積極的に推進します。
- 2 ライフスタイルの見直しなど、徹底した省エネルギー対策を推進します。
- 3 公共交通の利用促進や電動車の普及促進など、交通の低炭素化を推進します。
- 4 Reduce（ごみを出さない）、Reuse（繰り返し使う）、Recycle（再生利用する）の3Rを徹底し、循環型社会の形成に向けた取組を推進します。
- 5 気候変動による自然災害等へ対応するための適応策を推進します。

令和3年2月19日

上田市長

土屋 啓一

## 上田市地球温暖化対策地域推進計画（2023年3月改定）

- ・上田市は、2021年2月「気候非常事態宣言」にて、2050年までの二酸化炭素排出量実質ゼロ（ゼロカーボンシティ）を目指すことを表明。
- ・2050年ゼロカーボンシティの実現を見据えて、市全体の温室効果ガス排出量を、2027年度までに2013年度比で24.7%削減（2030年度までに同年比30%削減に相当）することを目標とし、目標達成のための取組を示す計画として「**上田市地球温暖化対策地域推進計画**」を策定。

### ○改定の背景

- ・2021年10月、「地球温暖化対策計画」が改定され、**国の温室効果ガス削減目標が大きく引き上げられた。**  
（2030年までに2013年度比で**26%削減** → **同年比46%削減**）
- ・国の新目標を勘案した新たな温室効果ガス排出量の削減目標を示すと共に、**2050年ゼロカーボンシティの実現を戦略的に推進していくためのロードマップを示す**ことを目的として、改定を実施。

### ○温室効果ガス排出量の削減目標

温室効果ガス排出量を・・・

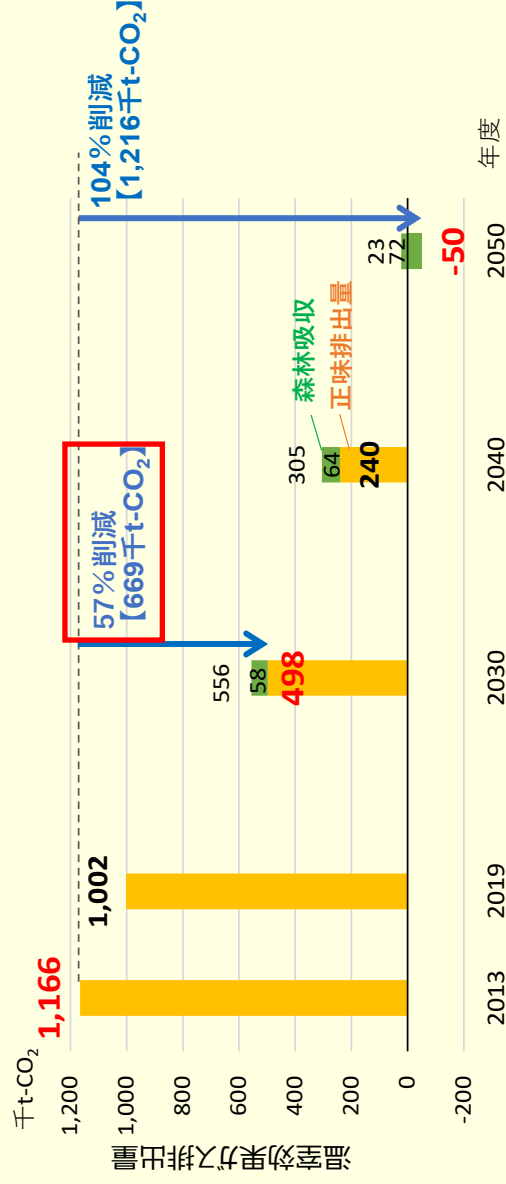
**2030年度までに57%削減**（2013年度比）

**2050年度までに温室効果ガス排出量実質ゼロ**

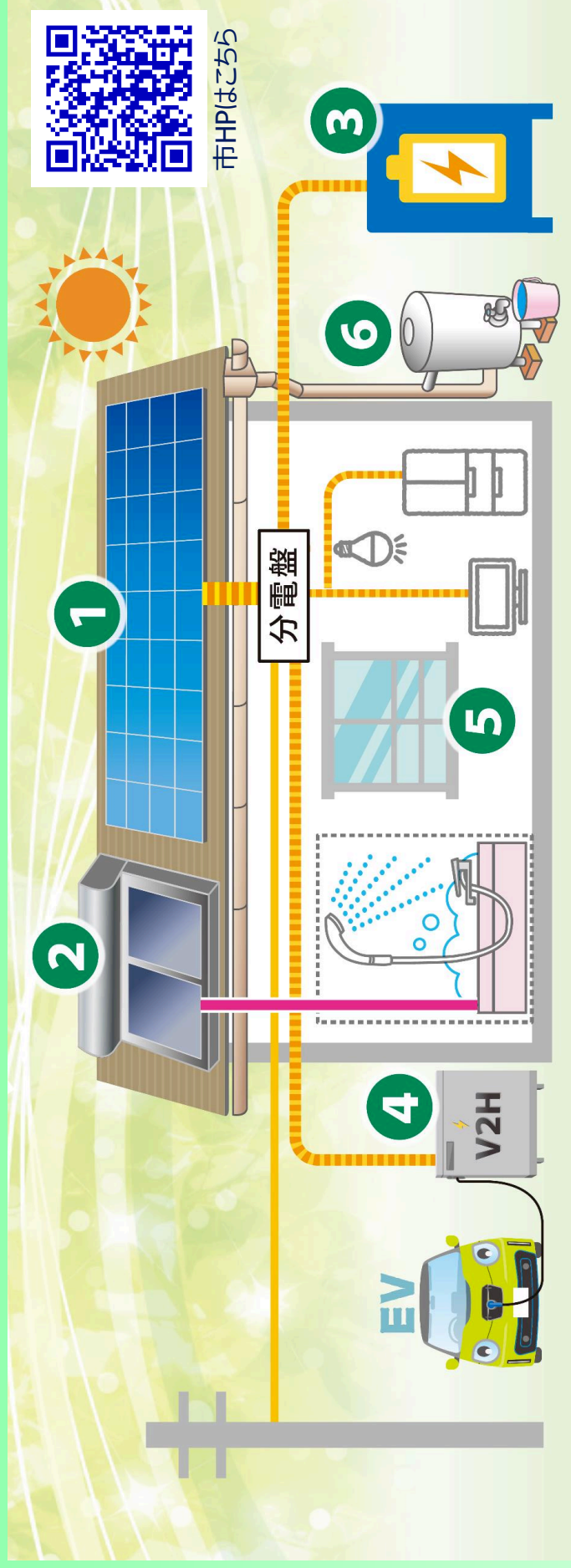
※改定前の目標

2027年度までに24.7%削減（2013年度比）

（2030年度までに同年比30%削減に相当）



# 市の地球温暖化対策【上田市地球温暖化対策設備設置費補助金】

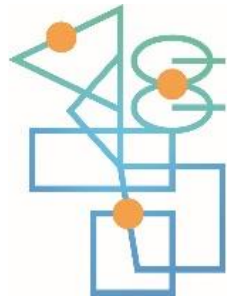


- 1 太陽光発電システム 住 宅  
事業所
- 3 定置型蓄電システム 住 宅  
事業所
- 5 開口部断熱設備 住 宅

- 2 太陽熱利用システム 住 宅
- 4 電気自動車等充給電設備 (V2Hシステム) 住 宅  
事業所
- 6 雨水貯留施設 住 宅  
事業所

# 脱炭素先行地域について

- 特定地域において、再エネ設備導入及び再エネ利用最大化のための基盤インフラ（蓄電池、自営線等）整備、省CO2等設備の導入を促進し、地域内の民生部門電力消費に伴うCO2 排出実質ゼロを目指すモデル地域を環境省が指定。
- 令和8年2月13日時点で全国45道府県133市町村の102提案（県内では、上田市、飯田市、小諸市、生坂村）を選定済み。
- 選定地域は、地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（交付率3分の2、上限50億円）を活用することができる。
- 当市は、別所線と沿線の6自治会を対象地域として令和5年11月に指定を受けた。



脱炭素先行地域

サントエナジーうえだ



- COP29（環境分野の国際会議）でも紹介され、注目を集めた。




出典：環境省

### Best Practices of Synergy Approach in Japan (2)

#### Net Zero x Data Center (Ishikari City)


- In the Ishikari Bay New Port area, **renewable energy** supplied from solar, woody biomass, and offshore wind power generation facilities.
- Ishikari City has recognized **the high renewable energy potential** of the area as a local advantage and is aiming to further establish industrial facilities.
- Now, a council consisting of forestry cooperatives and businesses was established to promote **local production and consumption of renewable energy**, especially for woody biomass fuel for power generation.



Kyocera Zero Emission Data Center

#### Net Zero x Local Public Transportation (Ueda City)

- Ueda Electric Railway Bessho Line has constructed a **dedicated grid** that utilizes railway power transmission facilities which provide renewable energy for train operation.
- A local energy company has introduced **solar power generation, supplying renewable energy to residents living along the line**, and giving them points that can be used to ride the train.
- For local lines that are running at a loss, which is a nationwide issue, the company **aims to reduce electricity costs and promote its use** by residents.



Ueda Electric Railway Bessho Line



# 事業の考え方（コンセプト）



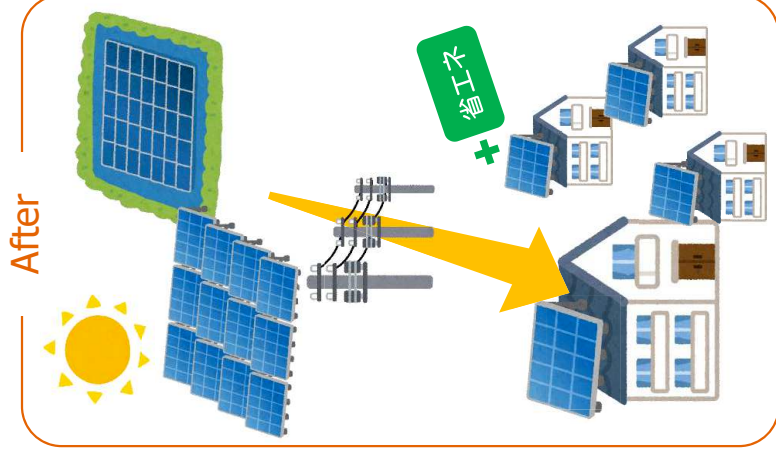
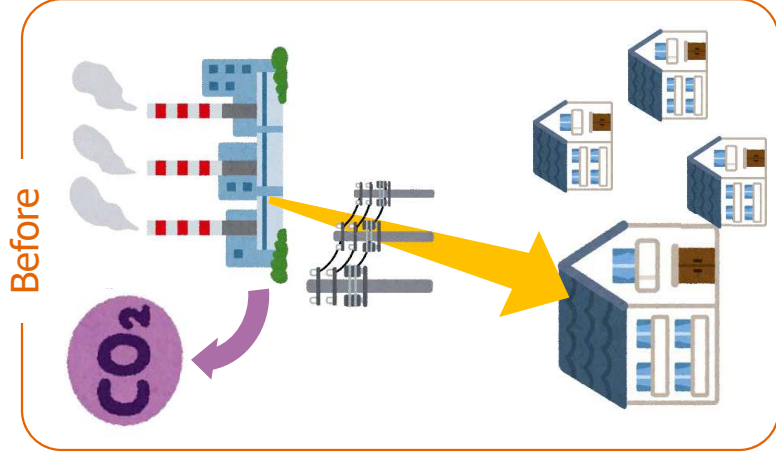
サントエナジーうえだ

住宅、商業施設、公共施設でつかう電力を脱炭素化をします

①太陽光パネルを設置する

②再生エネルギーを買う

③省エネする



地域の課題を一緒に解決します

地域住民の皆さんと別所線の維持活性化に取り組めます！

※中部電力の電線  
を使わない

自営線※による  
再生エネルギー供給

電気で支える

電気代  
DOWN

日本初！

ローカル鉄道の  
地域の再生エネルギーによる  
ゼロカーボン運行！

乗って支える

# ローカル鉄道と市民がともに支え合う「ゼロカーボン交通まちづくり」



# サントエナジーうえだのご紹介



サントエナジーうえだ

## 設立目的・ミッション

1 事業活動を通じて、**地域の脱炭素**、日本及び世界のカーボンニュートラル達成に貢献すること

2 地域で生み出された電力を地域に供給することで、エネルギーの**地産地消**及び**地域内経済循環**を推進すること

3 **地域の課題解決**、**地域裨益型事業**に積極的に取り組み、持続可能なまちづくりを推進すること

**社名** 株式会社サントエナジーうえだ

**資本金** 1,990万円

**設立** 2024年7月29日

**株主**  
(持株比率)

上田市 (50.3%)

**所在地**  
(設立時)  
上田市大手1-11-16 (上田市役所内)

上田交通株式会社 (12.6%)

みやまパワーHD株式会社 (12.6%)

有限会社和晃 (6.3%)

株式会社TicketQR (6.3%)

上田商工会議所 (5.0%)

特定非営利活動法人上田市民エネルギー (5.0%)

上田信用金庫 (2.0%)

**代表者** 代表取締役社長 小相澤 隆幸 (上田市副市長)

**役員** 代表取締役社長 小相澤 隆幸 (上田市)

取締役 宮嶋 晃 (和晃・㈱TicketQR)

取締役 磯部 達 (みやまパワーHD(株))

監査役 山岸 幸憲 (上田交通(株))

# Sun to Energy

# 令和7年度の実績・取組

主な事業	実施主体	計画内容 (含 R6年度繰越分)
戸建住宅への太陽光発電設備・蓄電池の導入	サントエナジーうえだ	18件(99kW) (目標：130件)
別所線利用促進策	サントエナジーうえだ	説明会に参加、仮申込みいただいた方を対象に別所線乗車時に利用できるQRチケットを配布 500円分×56枚 計28,000円分 (利用実績 10,430円分)
公共施設、ため池・遊休地への太陽光発電設備の導入	サントエナジーうえだ	あいそめの湯、塩田自治センター-PPA基本設計 榊池プロトソーラー-基本設計
別所線自営線マイクログリッド	サントエナジーうえだ	鉄道軌道敷太陽光、変電設備との接続の基本設計
公共施設の省エネ改修	上田市	あいそめの湯：照明LED化・空調改修 塩田地域自治C：照明LED化

## その他のサントエナジーうえだの取組

時期	内容
令和7年6月	電気事業法に基づく小売り電気事業者の登録が完了
令和7年12月	事務所を別所線大学前駅に移転 (下之郷乙281-2)
令和8年3月	小売り電気事業開始



大学駅前の駅前に設置した塩田営業所



太陽光発電設備施行現場に掲げた仮囲い広告 12

# 令和8年度の実施計画

主な事業	実施主体	計画内容 (含 R7年度繰越分)
戸建住宅への 太陽光発電設備・蓄電池の導入	サントエンジニアーズだ	112件 (616kW)
民間施設への 太陽光発電設備の導入	サントエンジニアーズだ	7施設
公共施設への 太陽光発電設備・蓄電池の導入	サントエンジニアーズだ	あいそめの湯 (86.5kW)、塩田自治センター (53.0kW)
ため池・遊休地への 太陽光発電設備の導入	サントエンジニアーズだ	杣池プロトソーラー施工(750kW) 泉池隣接私有地の太陽光パネルの設置に関する基本設計、 需給調整用の大型蓄電池の導入
別所線自営線マイクログリッド	サントエンジニアーズだ	鉄道軌道敷沿線への太陽光パネル設置、自営線敷設等 基 本設計
バイオマスボイラーの導入	上田市	あいそめの湯 バイオマスボイラーの導入可能性調査
アンケート調査	上田市	沿線住民を対象にアンケート調査を実施し、行動変容、意識 の変化を確認し、マイカー依存度の低減、別所線の利用増進 と路線維持に貢献する

榎池水上太陽光発電所説明会用

# 水上ソーラーオフサイトPPA事例



2026年5月9日

株式会社 環境資源開発コンサルタント

Rev.01



# 施工実績 (国内57か所、海外2か所)



## 信頼の証 施工実績一覧

\* 2025年7月現在

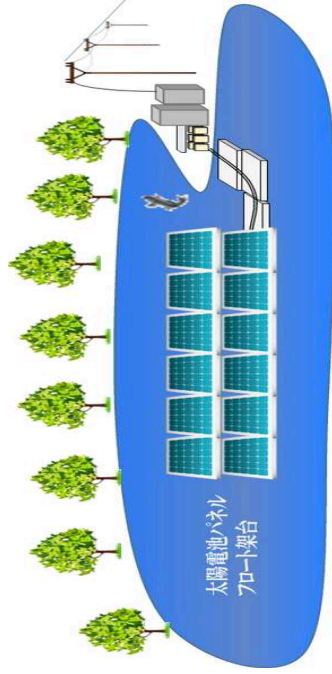
	ため池ソーラー発電所 (ため池名)	事業主	形式	施設DC出力 (kW)	所在地	竣工年月	備考
1	浄谷新池発電所	兵庫県	FIT	40	兵庫県小野市	2013年6月	共同実証実験
2	柳池発電所	個人事業主	FIT	40	兵庫県洲本市	2014年1月	
3	安政池発電所	近畿農政局	検証実験	2	兵庫県加東市	2014年4月	実証実験
4	猪ヶ谷池発電所	農業団体	FIT	48	兵庫県加東市	2014年8月	
5	吉原大池発電所	香川県	検証実験	6	香川県仲多度郡琴平町	2014年12月	実証実験
6	琴池発電所	民間企業	FIT	1,712	兵庫県加古郡稲美町	2015年3月	
7	一見池発電所	民間企業	FIT	1,914	兵庫県加古郡稲美町	2015年9月	
51	庄田池発電所	民間企業	オフサイトC-PPA	1,032	大阪府東区野市	2023年1月	環境省補助金採用
52	木谷池・岡崎池発電所	民間企業	自営線による自家消費型	2,497	兵庫県三木市	2024年1月	環境省補助金採用
53	招提新大池発電所	当社所有	オフサイトC-PPA	2,478	大阪府枚方市	2025年2月	経産省補助金採用
54	今池発電所	当社所有	オフサイトC-PPA	2,478	大阪府枚方市	2025年2月	経産省補助金採用
55	二号池第二発電所	民間企業	オフサイトC-PPA	1,674	兵庫県加古川市	2025年2月	経産省補助金採用
56	長法池第二発電所	民間企業	オフサイトC-PPA	840	兵庫県加古郡稲美町	2025年2月	経産省補助金採用
57	豊明濁池ソーラー発電所	電力会社	オンサイトC-PPA	2,312	愛知県豊明市	2025年6月	
<b>技術協力案件</b>							
1	橋葉町ため池発電所	民間企業	FIT	70	福岡県橋葉町	2018年3月	
<b>海外案件</b>							
1	鹽水庫ダム太陽光発電所	民間企業	FIT	2,000	台湾	2019年1月	
2	#8-13号池太陽光発電所	民間企業	FIT	2,000	台湾	2020年4月	
				<b>合計施設出力</b>			
				<b>62,204</b>			

# システムを利用したオフサイトPPA事例

## ひらかたパークへのオフサイトPPAを活用した再生エネルギー供給



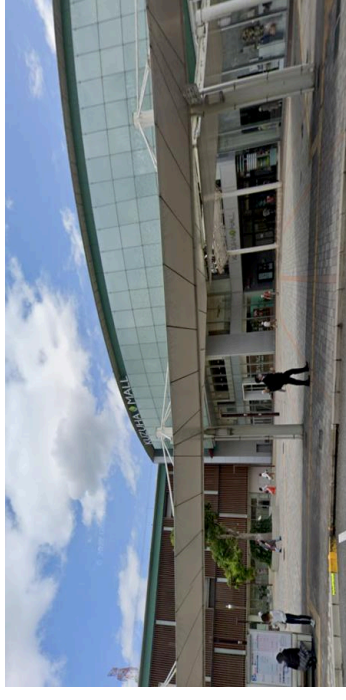
京阪ホールディングス  
専用水上発電所



2025年3月電力供給開始



くずはモール



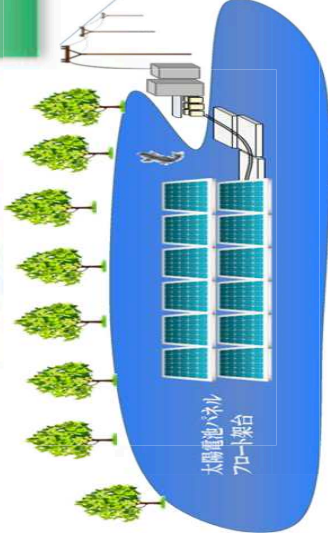
# システムを利用したオフサイトPPA事例

## JR奈良線へのオフサイトPPAを活用した再エネ電力供給

2026年2月電力供給開始予定



JR 西日本専用の  
太陽光発電所



再エネ電力  
今回の PPA

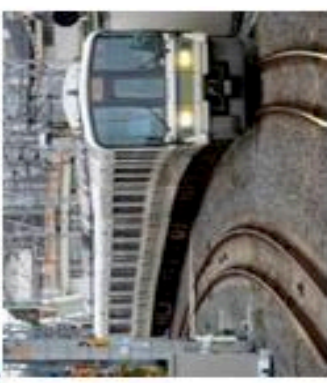


再エネ電力  
今回の PPA

既存の電力供給



奈良線の運転用電力



(イメージ) 奈良線 221 系

# 自営線によるオフサイトPPA事例

1

## 自営送電線 ご参考

養鶏場向け電力供給事例

兵庫県三木市/自営送電線 約1,000m



兵庫県三木市中央池  
1.5MWdc

# 自営線によるオフサイトPPA事例

4

自営送電線 ご参考

特殊車両製造工場向け電力供給事例

兵庫県 木市

自営送電線 約1,000m (蓄電池設置)

オフサイトカ兵庫工場様

蓄電池





株式会社環境資源開発コンサルタント  
大阪市城東区成育3丁目16番16号  
TEL 06-6967-9282

兵庫県加古郡六軒屋池  
絶滅危惧種のオニバスと共棲する発電所  
(5年ぶりに青々と茂るオニバスの葉)

